



St. Luke's International University Chapel

聖路加国際大学聖ルカ礼拝堂

〒104-0044 東京都中央区明石町 10-1 TEL 03-5550-2416 (事務室)

E-mail : chapel@luke.ac.jp URL <http://nssk.org/tokyo/church/luke>

マルコ福音書 7:1-8、14-15、21-23、聖霊降臨後第 15 主日、24/09/01)

「言霊」

チャプレン ヨナ 成成鍾司祭

キリストは数々の金言を残しました。「外から人に入って、人を汚すことのできるものは何もなく、人から出て来るものが人を汚すのである。」(15 節)というのもその一つです。では、人から出て来て人を汚すものは何でしょうか。人から出て来るものは、いわゆる排泄物のことですが、言葉こそ最も汚い排泄物になることがあります。言葉が人を汚す理由は、それが「心から出て来るからだ」(21 節参考)とキリストは指摘されました。このお話によりますと、言葉は語られた音声や文字だけではなく、それ以上のものであることが分かります。言葉には、語る人の心から出て来る、思いや感情、意図や目的などの見えない色が付いているからです。そのように口から出て来る言葉は、その裏に何かを持っているため人を生かす事も殺すこともできる力が宿っている、と古くから言われています。それが聖書の『箴言』というところには「死も生も舌の力にある」(18 章 21 節)とか「あたかも剣で刺すかのように軽率に語る者がいる。知恵のある人の舌は癒しを与える。」(12 章 18 節)と表現されています。

聖書だけではなく、古今東西を通じて言葉が持つ力についての認識は深いものですが、とりわけ日本では「言霊」という概念があります。言霊とは、文字通り言葉に霊が宿っている、だから発散するエネルギーがあるということを意味します。口にした言葉は、先ず音になりますが、それと同時にエネルギーとも言える霊が伴うために人の心と体と魂に大きな影響を与え、良くも悪くも人生を変える力になることもあります。それは聞く人だけではなく、語る人にも当てはまります。例えば、ポジティブな言葉を言えば、聞く側も語る側もポジティブになり、ネガティブな言葉を言えば、聞く側も語る側もネガティブになります。それは口から出て来る言葉が意識を変え、意識が行動を変え、行動が生き方を変え、それが結果となって自分に返ってくるようになるからです。つまり、全ての言葉は、それが良い言葉であろうとも悪い言葉であろうとも、相手に影響を与え、さらに自分に返ってくるわけです。

そういった意味で、日本の古代において「言」と「事」は同一の概念であって、漢字が導入された当初も「言」と「事」は区別せずに用いられた、という話にはうなずけます。それは日本に現存する最古の和歌集である『万葉集』にも反映されていました。「言葉の力で幸せをもたらされる国」(柿本人麻呂の歌 3254)という表現が記されているほど、古くから日本は言葉に宿る不思議な力を重んじて、慎みながら言葉を選び、また口にすることを通して万事を良い方向へと導こうとしたのではないかと推察します。日常生活で使う言葉はもちろんのこと、私たちがそれぞれ持っている名前というのもその延長線上で理解することができます。親など身近な人から意味を持つ名前をもらい、普段その名前と呼ばれるわけですが、それは名前の意味が実現されていく過程でもあります。つまり誰かから名前と呼ばれることを通して、名前に込められている意味が働くということになるわけです。キリスト教にも古くから洗礼を受ける際に洗礼名(教名)をもらう習慣がありますが、ほぼ同じ営みとして理解することができます。

ではいかがでしょうか。自分の名前や洗礼名にはどのような意味が込められていて、その意味はどのように活かされているのでしょうか。そして、今の言葉使い、言語習慣はどのようになっているのでしょうか。それらのことについて振り返ってみますようお願いいたします。

(※聖書は裏面に記載されています)

<福音書> マルコによる福音書 7章 1～8, 14～15, 21～23 節

¹ファリサイ派の人々と数人の律法学者たちが、エルサレムから来て、イエスのもとに集まった。²そして、イエスの弟子たちの中に、汚れた手、つまり洗わない手で食事をする者がいるのを見た。³——ファリサイ派の人々をはじめユダヤ人は皆、昔の人の言い伝えを守り、念入りに手を洗ってからでないと食事をせず、⁴また、市場から帰ったときには、身を清めてからでないと食事をしない。そのほか、杯、水差し、銅の器や寝台を洗うことなど、守るべきこととして受け継いでいることがたくさんあった。——⁵そこで、ファリサイ派の人々と律法学者たちが尋ねた。「なぜ、あなたの弟子たちは昔の人の言い伝えに従って歩まず、汚れた手で食事をするのですか。」⁶イエスは言われた。「イザヤは、あなたがた偽善者のことを見事に預言したものだ。彼はこう書いている。

『この民は唇で私を敬うが

その心は私から遠く離れている。

⁷空しく私を崇め

人間の戒めを教えとして教えている。』

⁸あなたがたは、神の戒めを捨てて、人間の言い伝えを固く守っている。」

¹⁴それから、イエスは再び群衆を呼び寄せて言われた。「皆、私の言うことを聞いて悟りなさい。¹⁵外から人に入って、人を汚すことのできるものは何もなく、人から出て来るものが人を汚すのである。」

²¹中から、つまり人の心から、悪い思いが出て来る。淫行、盗み、殺人、²²姦淫、食欲、悪意、欺き、放縦、妬み、冒瀆、高慢、愚かさ、²³これらの悪はみな中から出て来て、人を汚すのである。」